北区・栄養グループのホタルツアー 鮫川の食と自然を満喫

東京都北区健康づくり栄養グループ「食彩」の農村体験ホタルツアーは6月28日から30日の3日間、村内で行われました。

ツアーには、1泊2日の2班に分かれて48名が参加。1日目は、鮫川村産の食材をつかった昼食を味わったあと、齋須寛一さん（新宿）と鈴木米子さん（新宿）の指導で鮫川和紙のうちわ作り・絵付け体験をしました。夜はホタル鑑賞をし、ホタルの幻想的な光に歓声が上がりました。2日目は、矢吹一二さん（仁田）と食生活改善推進員ひまわりの会のメンバーを講師に、うどん打ちとじゅうねん冷だれ作りを学んだあと、鈴木芳保さん（大石草）の圃場で青じその収穫体験をしました。参加者は、鮫川村の豊かな食と自然を満喫しました。

うどん打ちを体験する参加者

熱戦を繰り広げた夏季球技大会

9人制バレーボール

村体育協会主催の第67回健康づくり夏季球技大会は7月1日、各会場で行われ、バレーボールとソフトボールで熱戦が繰り広げられました。また、15日に塙町で行われた郡大会において、バレーボール競技の中野VBCが準優勝を果たしました。

夏休みの「声」は青生野小6年生

録音を行った青生野小の6年生

夏休み期間中の夕方5時に流れる防災無線の放送は毎年、小学生がアナウンサーを務めています。今年、夏休みの「声」を担当しているのは青生野小6年の長井優果さん、棚井駿介さん、笹島匠悟さん（左から）です。7月18日、役場放送室で声の録音を行いました。

鮫川だけの室内楽の響きを楽しむ

一流の演奏を堪能したコンサート

ＮＨＫ交響楽団第一コンサートマスター・山口裕之氏、東京芸術大学教授・川崎和憲氏らによる「夏のコンサート」は7月15日、村公民館で開かれました。村内外から訪れた人たちは、鮫川村のために編成された弦楽アンサンブルによる室内楽の響きを楽しみました。

前進座公演、演劇に親しむ

江戸時代の生活を楽しく学ぶ

前進座公演・出前芝居「くず～い屋でござい」は6月24日、村公民館で行われました。

公演は、観客参加型となっており、観客も声を出しながら楽しみました。また、芝居本編の前には、江戸時代の暮らしや当時のリサイクルなどについて芝居形式で学びました。

故石井利雄さんに旭日単光章

叙勲を受ける良夫さん（左）

元村議会議員で、旭日単光章を受けた故石井利雄さんに対する叙勲伝達式は7月4日、自宅で行われました。樵県南地方振興局長から長男・良夫さんへ勲章が手渡されました。

故石井さんは昭和58年から平成7までの3期12年、村議会議員を務めました。

小学生が赤ちゃんとふれあう

赤ちゃんをあやす小学生

鮫川小6年生（31人）と青生野小5・6年生（4人）を対象とした思春期ふれあい体験学習は6月25日、村保健センターで行われました。体験学習には6組の乳幼児と保護者が協力。各グループに分かれて、赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりしながらふれあいました。

村税完納に感謝 西山区は継続60年

納税完納の表彰を受ける行政区長

平成二十四年度納税表彰式・納税組長会議は六月二十四日、村農業者トレーニングセンターで開かれ、区長や組長、来賓など約二百二十人が出席しました。

納税表彰式では、大樂村長があいさつし、完納を達成した行政区や納税組合に表彰状を贈呈したあと、退職統計調査員、善行者に対して感謝状を贈呈しました。

引き続き、納税組長会議が行われ、大樂村長や各課長が本年度の村の取り組みについて説明しました。

また、西山区は村行政区最長となる納税継続完納六十年を達成し、達成を祝う式典が七月七日、同区集落センターで行われました。

式典では、阿久津清次区長が継続完納への協力に対する感謝とさらなる納税意識の高揚を図り、継続していきたいとあいさつ。大樂村長、前田村議会議長が祝辞を述べました。

自立した子どもを育てるために

考える会の様子

村教育委員会主催の「第九回村民こぞって子どもの教育を考える会」は七月十八日、村公民館で開催されました。

会では、「自立した人間を育成するために」をテーマにシンポジウムが行われ、子どもの健康づくりや家庭教育、読書の推進などからの子どもの自立をめざす提言が示され、活発な意見交換がされました。